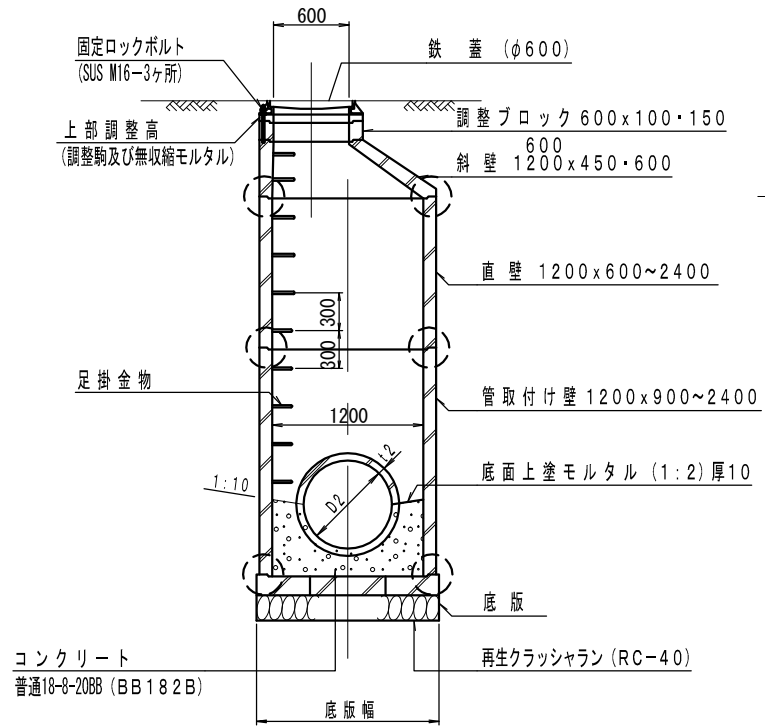


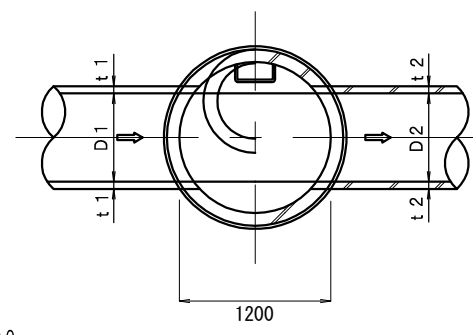
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1200B	H	2019

組立円形人孔工 (内径1200B)

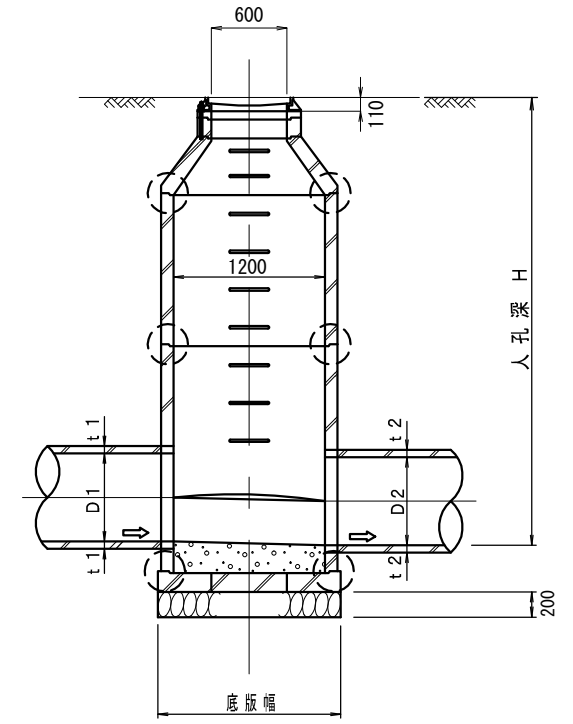
横断面図



平面図



縦断面図

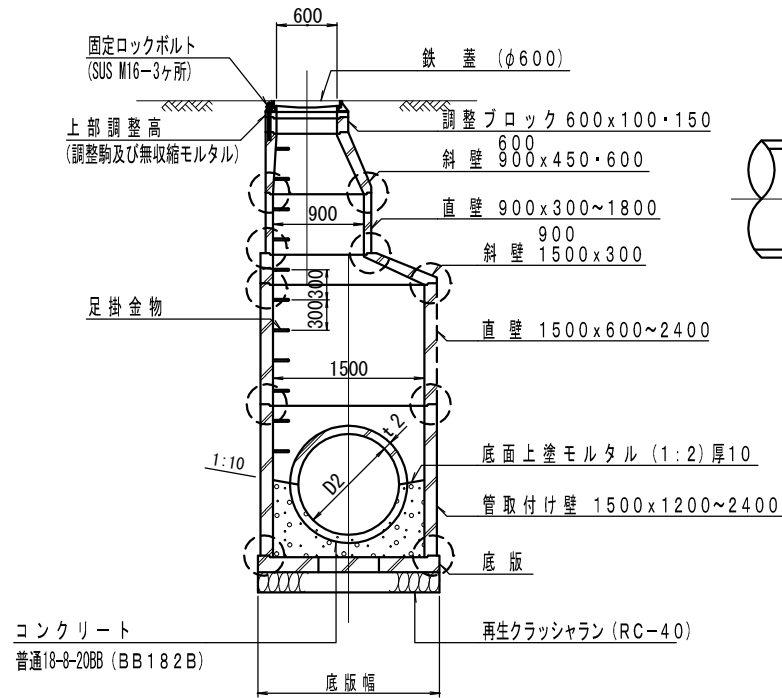


- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
3. 底付管取付け壁及び底板一体型管取付け壁を使用する場合のインパートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

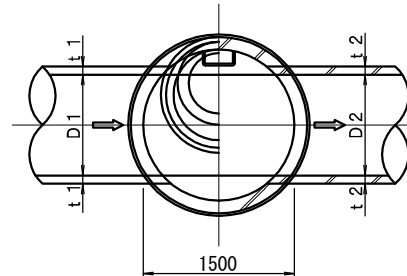
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1500A	H	2019

組立円形人孔工（内径1500A）

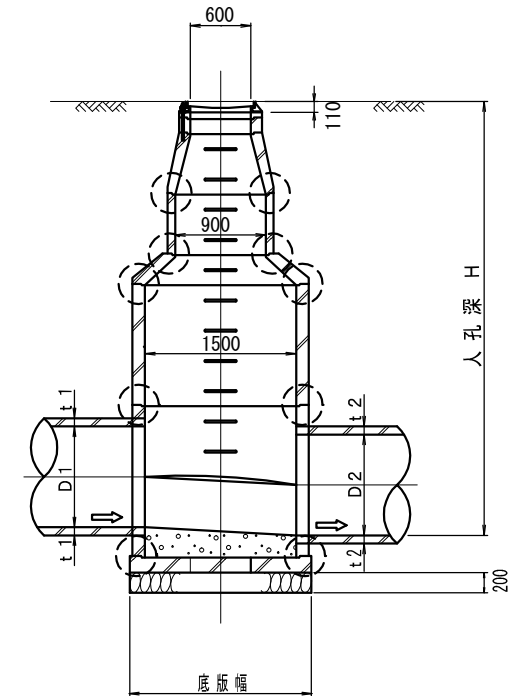
横断面図



平面図



縦断面図

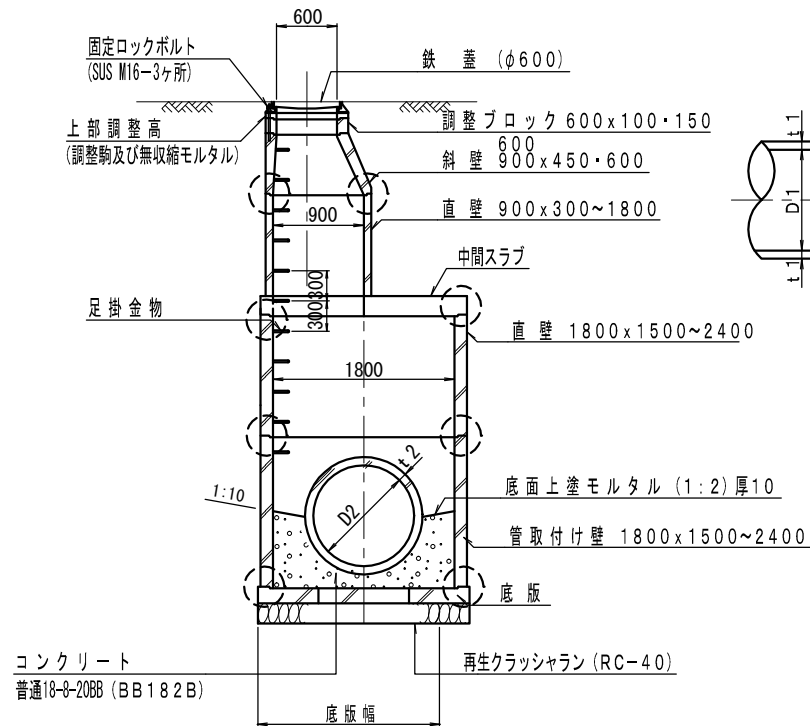


1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
3. 底付管取付け壁及び底版一体型管取付け壁を使用する場合のインパットは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

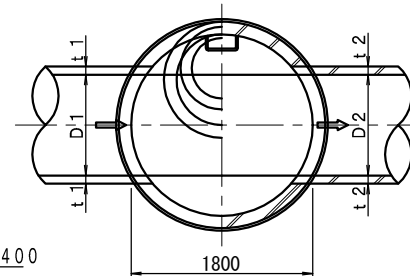
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1800A	H	2019

組立円形人孔工（内径1800A）

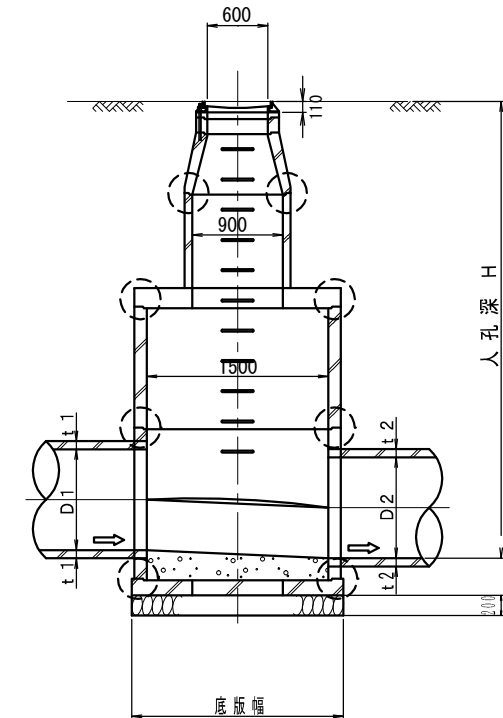
横断面図



平面図



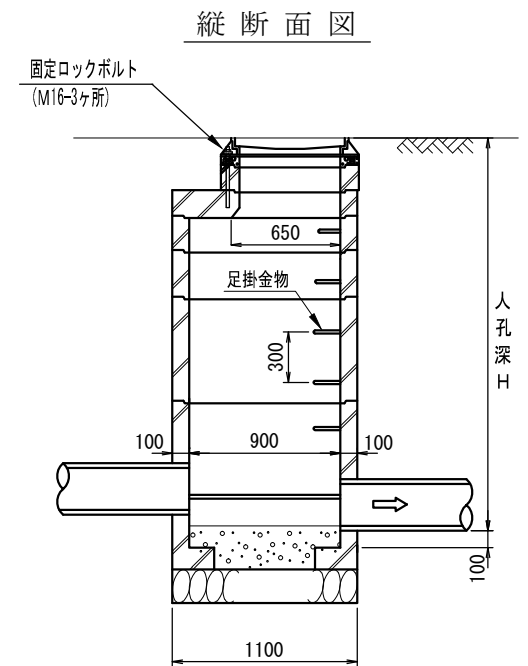
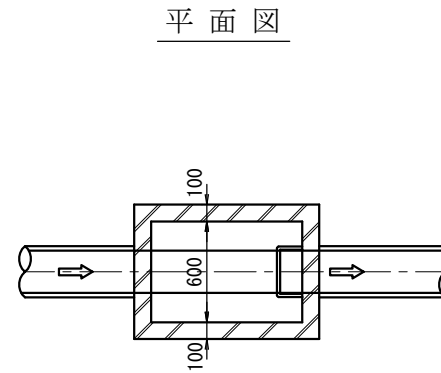
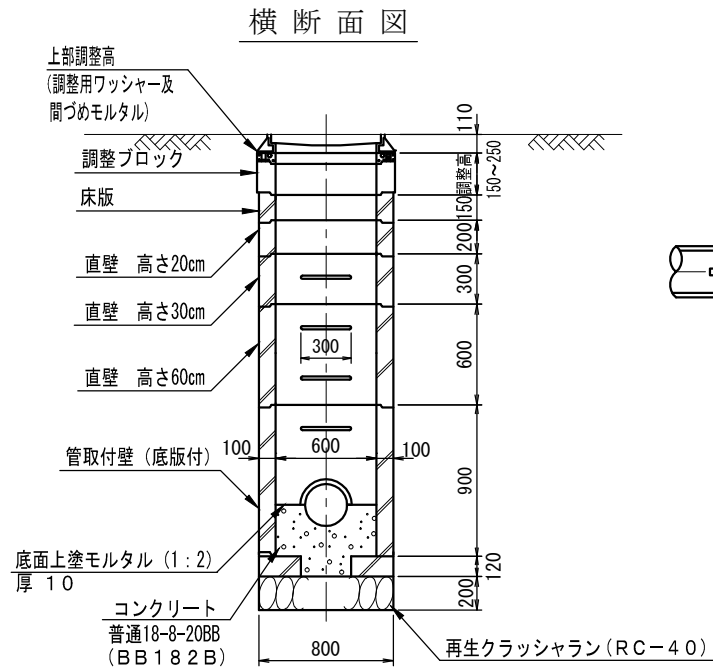
縦断面図



- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
3. 底付管取付け壁及び底板一体型管取付け壁を使用する場合のインパートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

組立矩形人孔工 (内法 900×600) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	900×600	H	2019

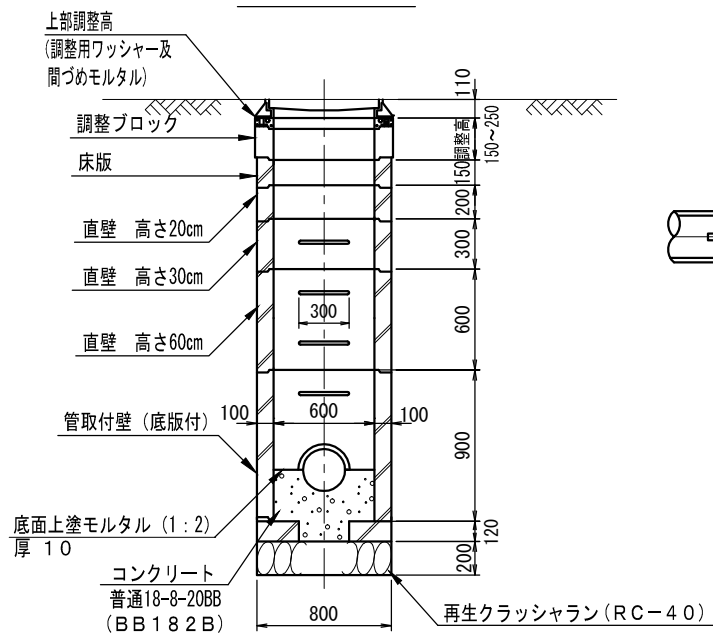


- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録 (第2560609号) 済みである。
3. 本図の人孔深は、2.00mを超えているが、標準では2.00mまでとする。
4. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用する場合は参考図と考えること。
5. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

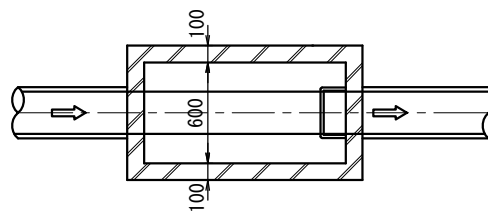
組立矩形人孔工 (内法 1200×600) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×600	H	2019

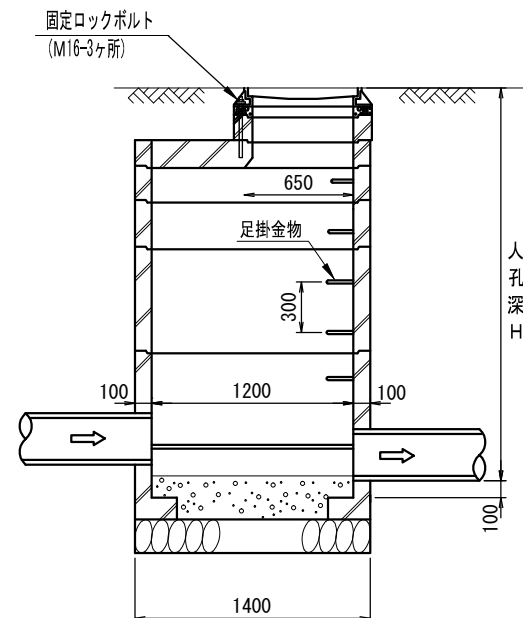
横断面図



平面図



縦断面図



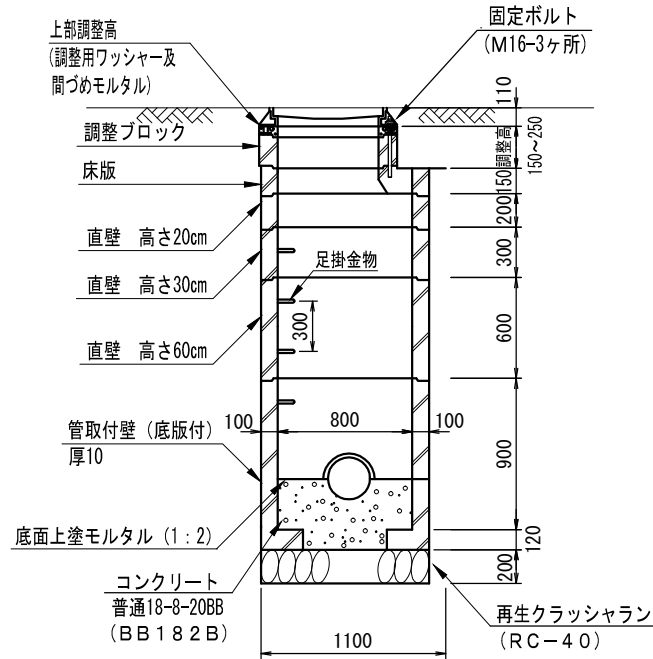
人孔深 H=3.5m 未満

1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録 (第2560609号) 済みである。
3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用の場合は参考図と考えること。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

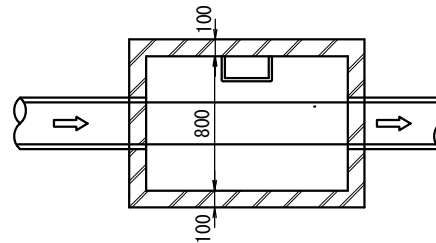
組立矩形人孔工 (内法 1200×800) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×800	H	2019

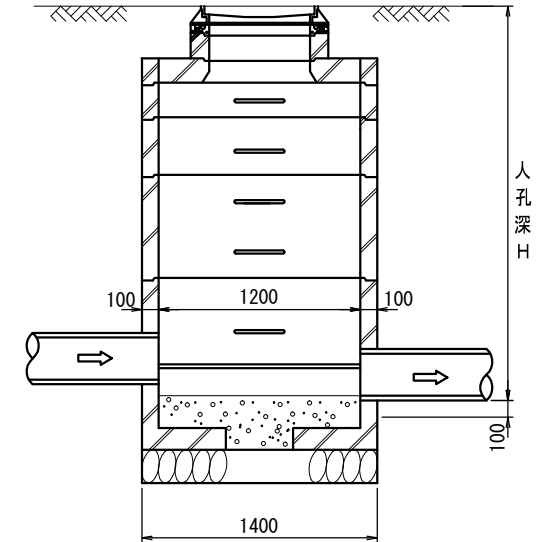
横断面図



平面図



縦断面図

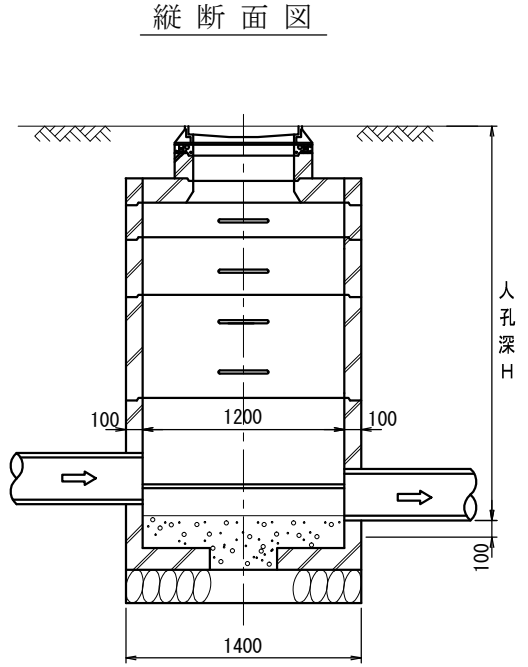
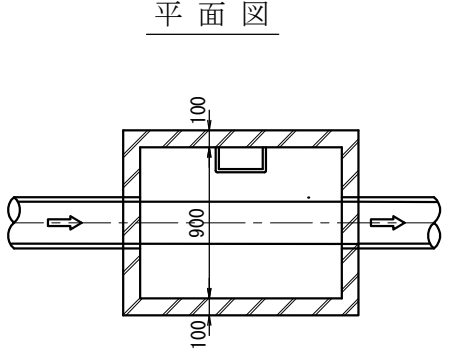
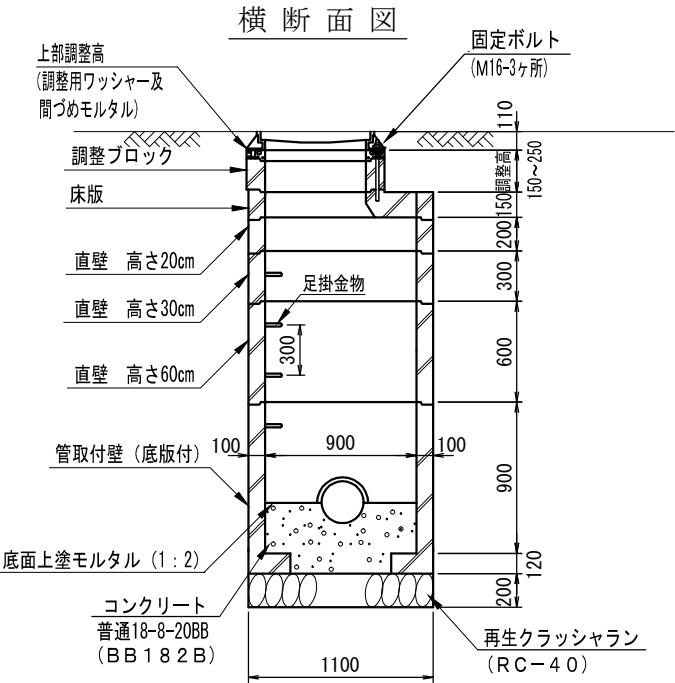


人孔深 H=3.5m 未満

1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録(第2560609号)済みである。
3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用の場合は参考図と考えること。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×900	H	2019

組立矩形人孔工 (内法 1200×900) S=1/40



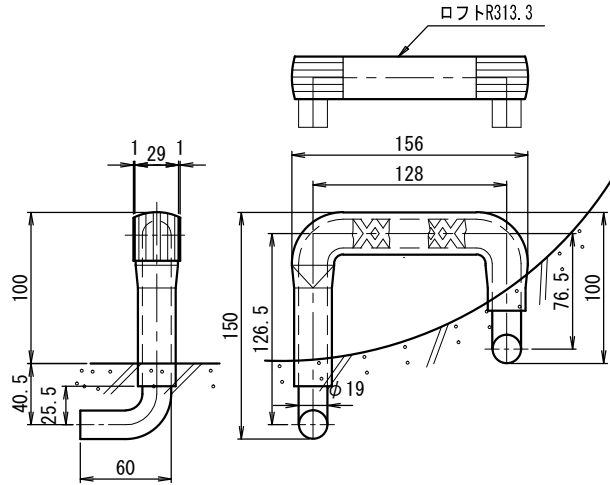
人孔深 H=3.5m 未満

- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録 (第2560609号) 済みである。
3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用の場合は参考図と考えること。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

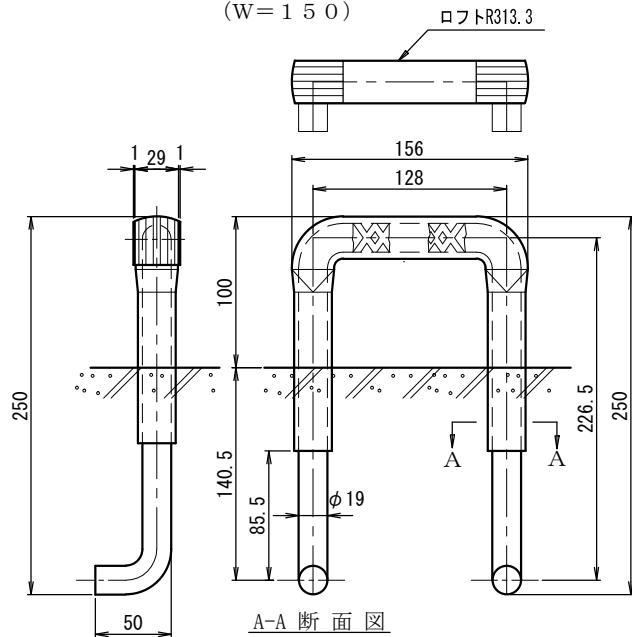
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	足掛金物	コンクリート壁用 人孔側塊用		2019

足掛金物 (コンクリート壁用、人孔側塊用)

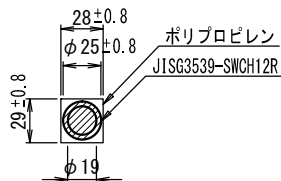
人孔側塊用



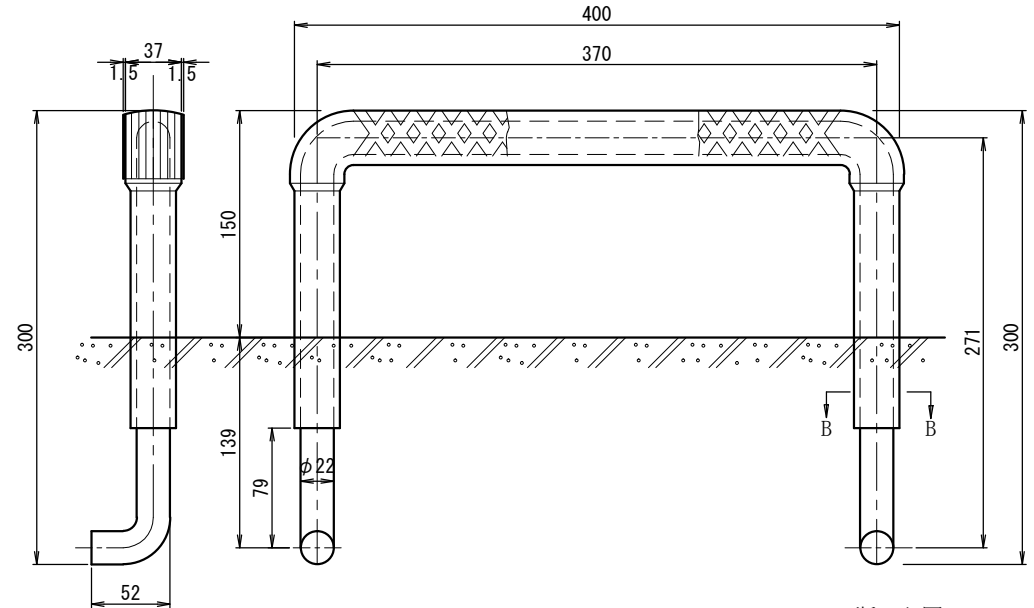
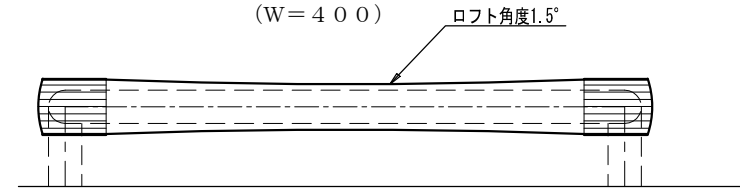
コンクリート壁用
(W=150)



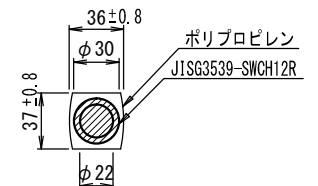
A-A 断面図



コンクリート壁用
(W=400)



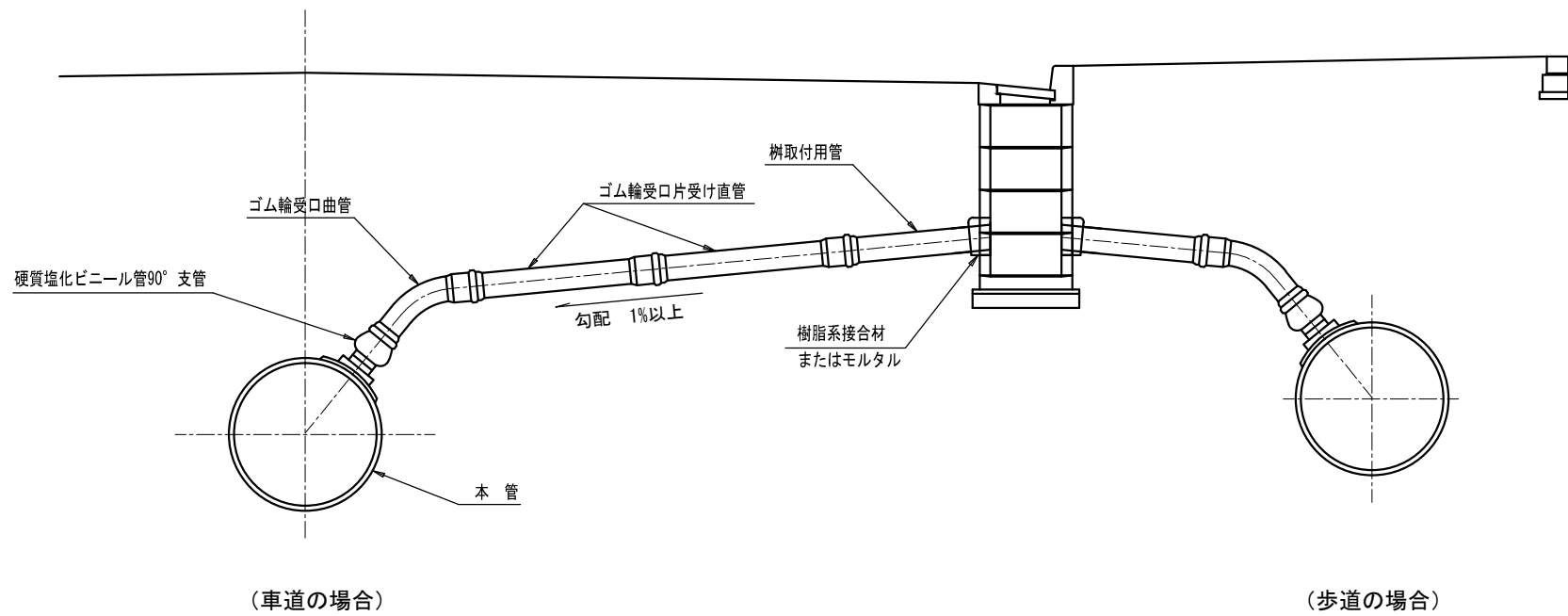
B-B 断面図



注) すべり止めは両面加工とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	取付け管及び支管取付工			2019

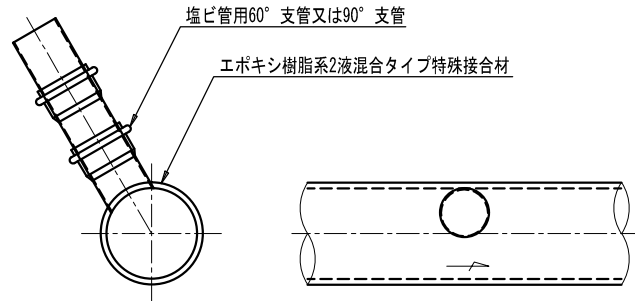
取付け管及び支管取付工標準布設図



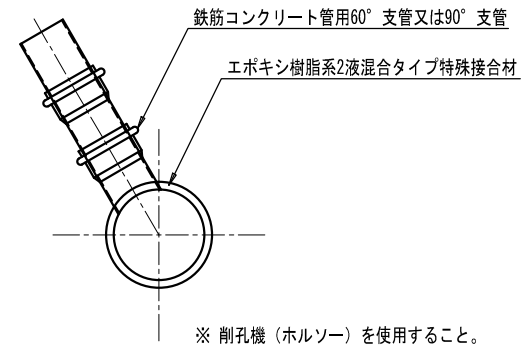
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	既設本管 接続図			2019

既設本管接続図

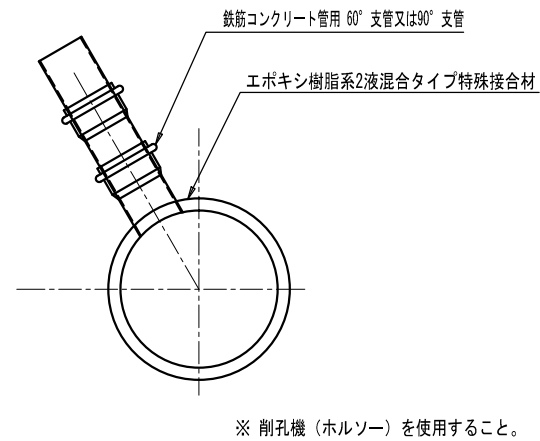
本管が硬質塩化ビニル管の場合



本管が鉄筋コンクリート管で管径 $\phi 200\text{mm} \sim \phi 300\text{mm}$ の場合



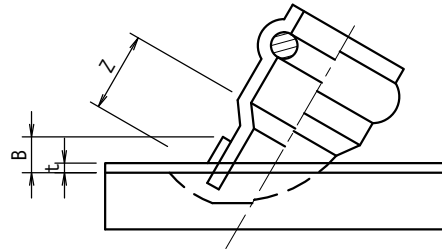
本管が鉄筋コンクリート管で管径 $\phi 350\text{mm}$ 以上の場合



コンクリート管用60°及び90°支管 (鉄筋コンクリート管用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	コンクリート管用 60° 90° 支管		D	2019

60度 (略号 60 SHR)



寸法表

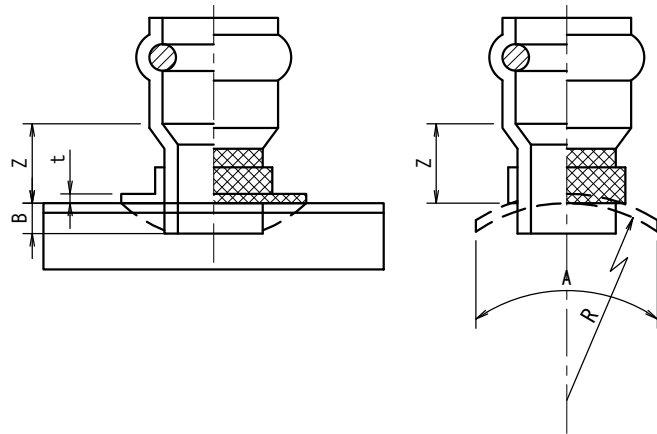
(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z ₁		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考質量 kg/個
	60°	90°					
250-150	95	50	4	255	26	153	1.7
250-200	110	50		300			2.4
300-150	95	50	4	255	28	180	1.7
300-200	110	50		300			2.4
350-150	95	50	4	255	30	207	1.7
350-200	110	50		300			2.4
400-150	95	50	4	255	33	235	1.7
400-200	110	50		300			2.4
400-250	130	60		370			3.1
400-300	150	70		370			4.5
450-150	95	50	4	255	36	263	1.7
450-200	110	50		300			2.4
450-250	130	60		370			3.1
450-300	150	70		370			4.5
500-150	95	50	4	255	40	292	1.7
500-200	110	50		300			2.4
500-250	130	60		370			3.1
500-300	150	70		370			4.5
600-150	95	50	4	255	48	350	1.7
600-200	110	50		300			2.5
600-250	130	60		370			3.6
600-300	150	70		370			4.8
700-150	95	50	4	255	56	408	1.7
700-200	110	50		300			2.5
700-250	130	60		370			3.6
700-300	150	70		370			4.8
800-150	95	50	4	255	64	466	1.7
800-200	110	50		300			2.5
800-250	130	60		370			3.6
800-300	150	70		370			4.8
900-150	95	50	4	255	73	525	1.7
900-200	110	50		300			2.5
900-250	130	60		370			3.6
900-300	150	70		370			4.8

(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z ₁		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考質量 kg/個
	60°	90°					
1000-150	95	50	4	255	79	582	1.7
1000-200	110	50		300			2.5
1000-250	130	60		370			3.6
1000-300	150	70		370		4.8	
1100-150	95	50	4	255	85	638	1.7
1100-200	110	50		300			2.8
1100-250	130	60		370			4.0
1100-300	150	70		370		5.4	
1200-150	95	50	4	255	92	695	1.7
1200-200	110	50		300			2.8
1200-250	130	60		370			4.0
1200-300	150	70		370		5.4	
1350-150	95	50	4	255	100	778	1.7
1350-200	110	50		300			2.8
1350-250	130	60		370			4.0
1350-300	150	70		370		5.4	
1500-150	95	50	4	255	108	862	1.7
1500-200	110	50		300			2.8
1500-250	130	60		370			4.0
1500-300	150	70		370		5.4	
1650-150	95	50	4	255	116	945	1.7
1650-200	110	50		300			2.8
1650-250	130	60		370			4.0
1650-300	150	70		370		5.4	
1800-150	95	50	4	255	123	1027	1.7
1800-200	110	50		300			2.8
1800-250	130	60		370			4.0
1800-300	150	70		370		5.4	
2000-150	95	50	4	255	140	1145	1.7
2000-200	110	50		300			2.8
2000-250	130	60		370			4.0
2000-300	150	70		370		5.4	

90度 (略号 90 SHR)

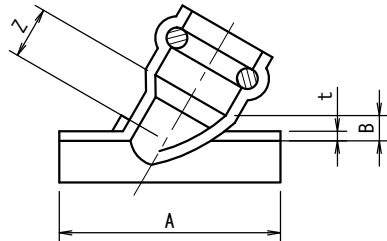


- 注) 1. Zは、呼び径200mm以下は許容差 ±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径250、300mmは本管形である。
 3. ゴム輪の品質は、JIS K 6353 (水道用ゴム) に規定するI類Aに適合したものを使用する。
 4. Rは、標準値を示す。

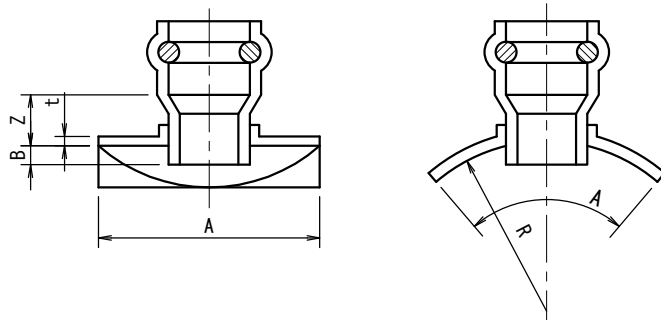
硬質塩化ビニル管用60° 及び90° 支管

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	硬質塩化ビニル管用 60° 及び 90° 支管		D	2019

60度 (略号 60 SVR)



90度 (略号 90 SVR)



寸法表

(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考重量 kg/個
	60度	90度					
250-150	95	50	4	300	7.8	133.5	1.7
250-200	110	50					2.4
300-150	95	50	4	300	9.2	159.0	1.7
300-200	110	50					2.4
350-150	95	50	4	300	10.5	185.0	1.7
350-200	110	50					2.4
400-150	95	50	4	300	11.8	210.0	1.7
400-200	110	50					2.4
450-150	95	50	4	300	13.2	235.0	1.7
450-200	110	50					2.4
500-150	95	50	4	300	14.6	260.0	1.7
500-200	110	50					2.4
600-150	95	50	4	300	17.8	315.0	1.7
600-200	110	50					2.5

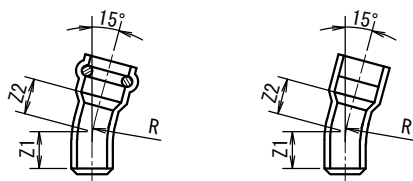
- 注) 1. Zの許容差は、±15mmとする。
 2. Rは標準値を示す。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同種である。

硬質塩化ビニル曲管

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	硬質塩化ビニル曲管		D	2019

15度曲管

ゴム輪受口 (略号 15 SR) 接着受口 (略号 15 ST)



寸法表

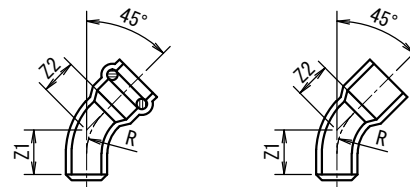
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	129	30	59	90	220
200	149	40	72	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

45度曲管

ゴム輪受口 (略号 45 SR) 接着受口 (略号 45 ST)



寸法表

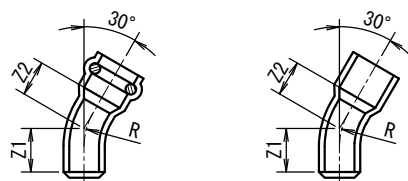
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	191	55	121	90	220
200	228	70	151	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

30度曲管

ゴム輪受口 (略号 30 SR) 接着受口 (略号 30 ST)



寸法表

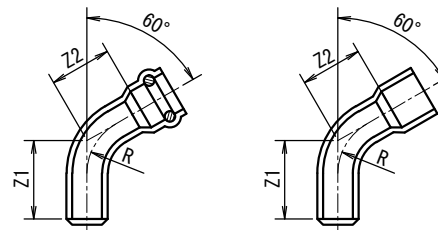
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	159	30	89	90	220
200	187	40	110	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

60度曲管

ゴム輪受口 (略号 60 SR) 接着受口 (略号 60 ST)



寸法表

(単位: mm)

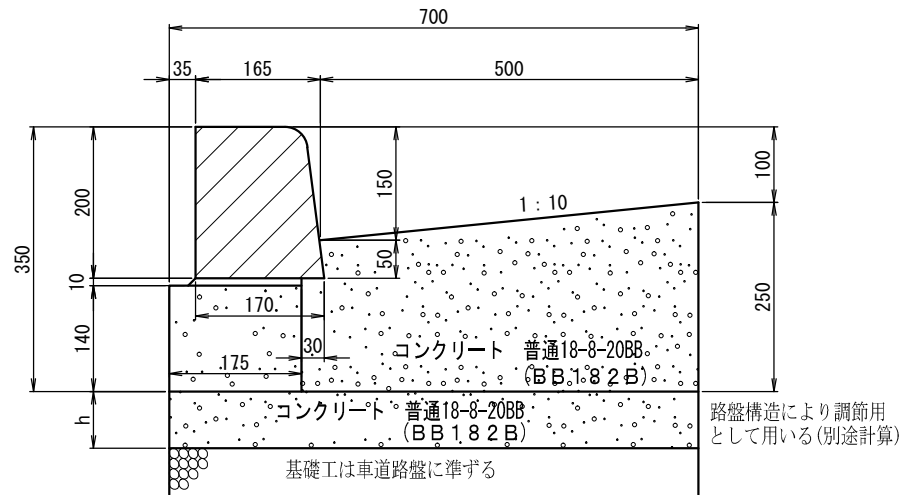
呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	227	75	157	90	220
200	274	90	199	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

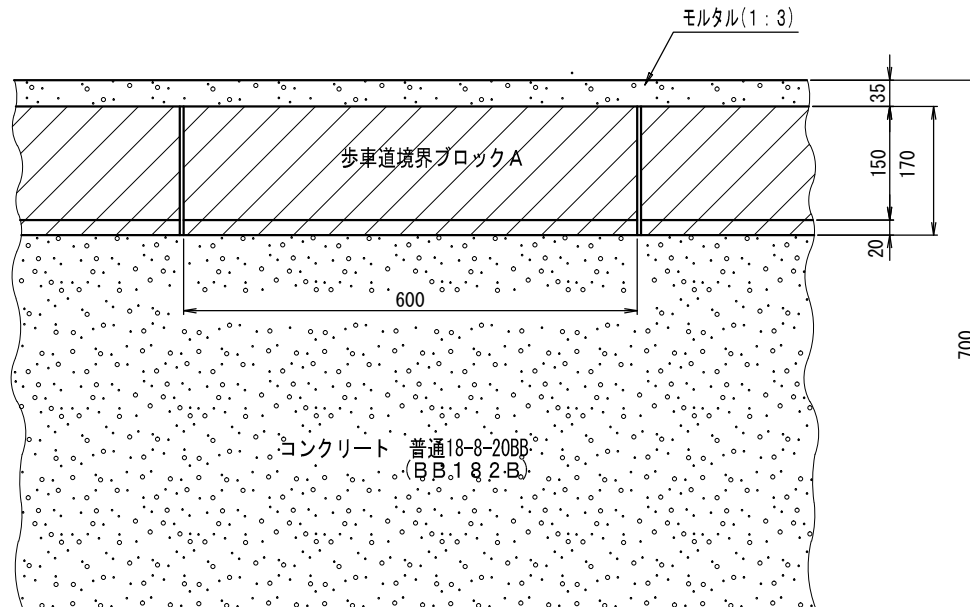
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155型	h	2019

街きよ工(155型) S=1/10
(補修用)

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100m当り)

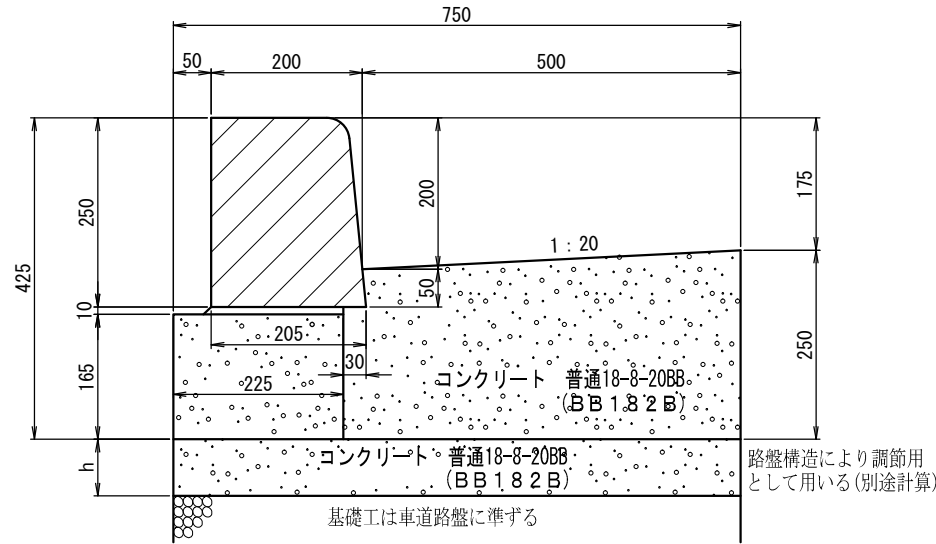
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	14.1	m ³	
歩車道境界ブロックA	150×200×600	165.0	本	45 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型枠		53.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

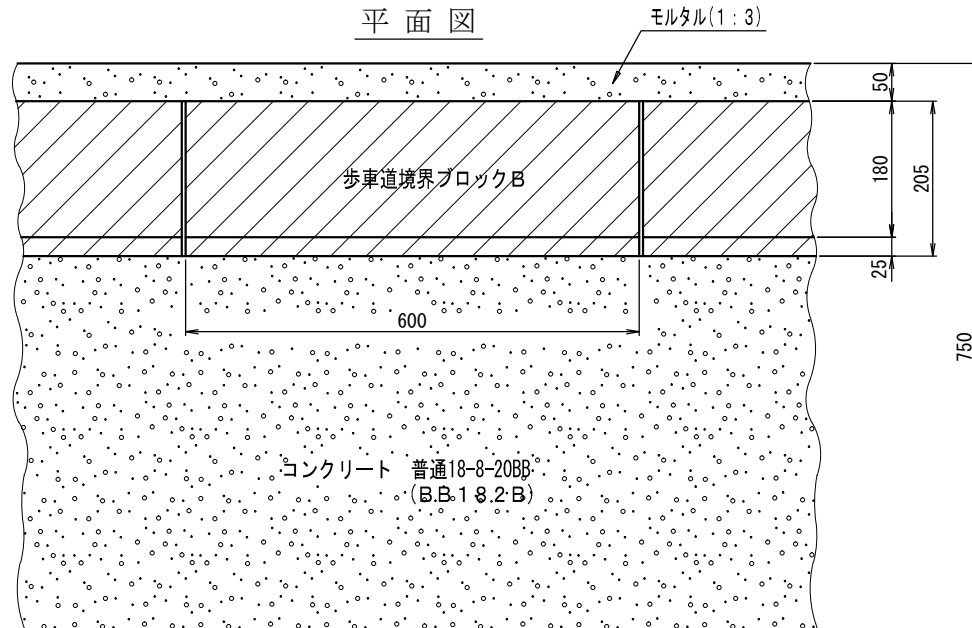
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	205型	h	2019

街きよ工(205型) S=1/10
(補修用)

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100m当り)

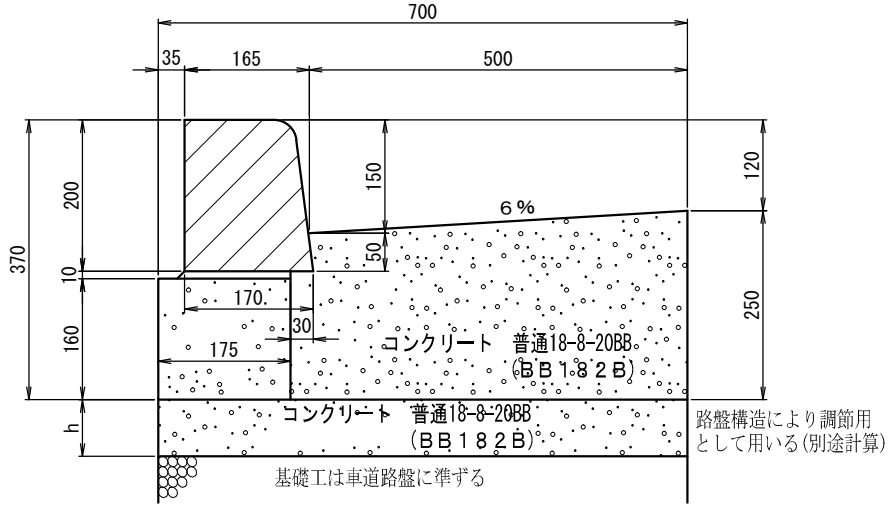
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	16.0	m ³	
歩車道境界ブロックB	180×250×600 205	165.0	本	69 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型枠		58.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

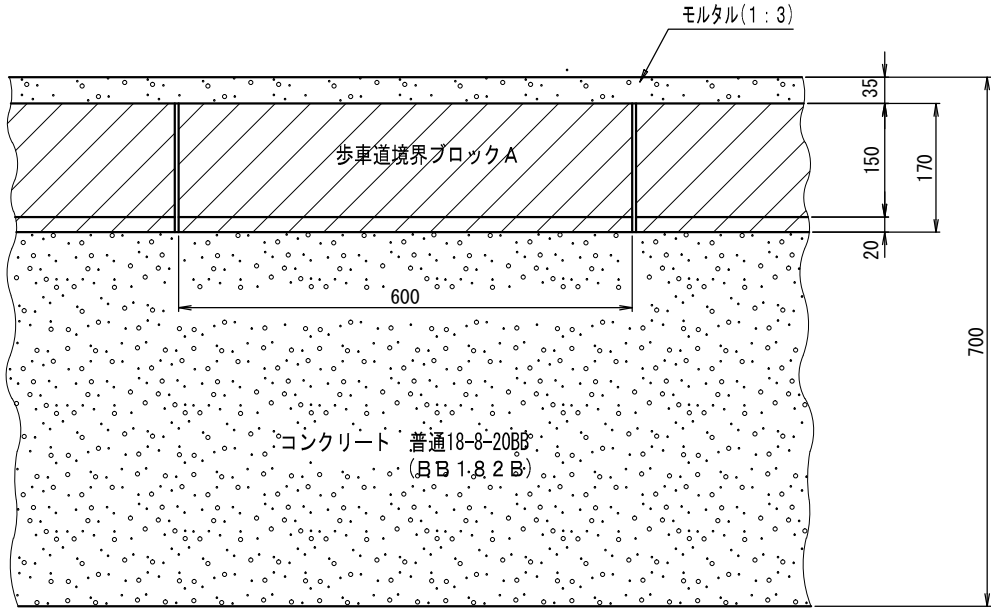
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155型	h	2019

街きよ工(155型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100m当り)

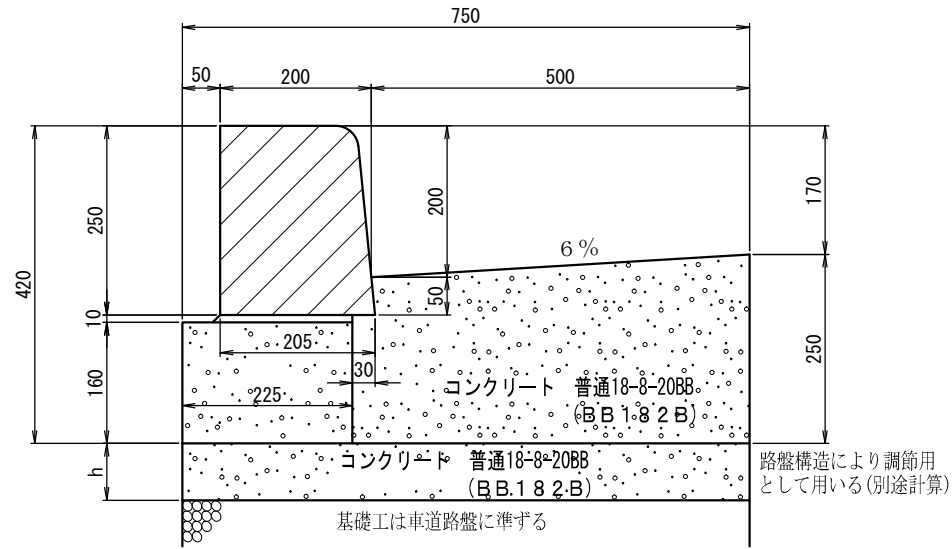
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	15.0	m ³	
歩車道境界ブロックA	150×200×600	165.0	本	45 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型枠		57.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

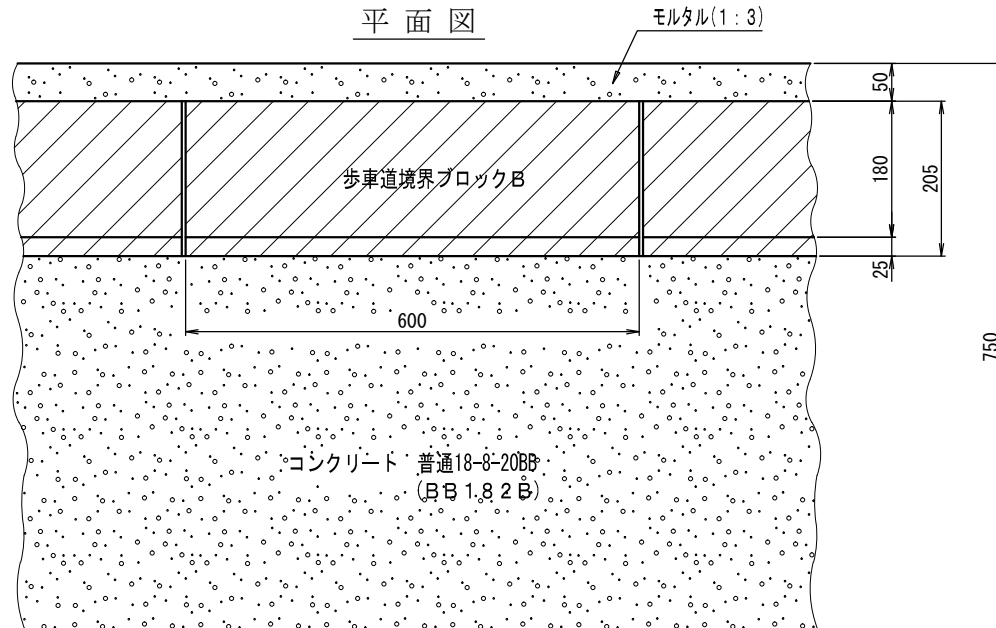
街きよ工(205型) S=1/10

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	205型	h	2019

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

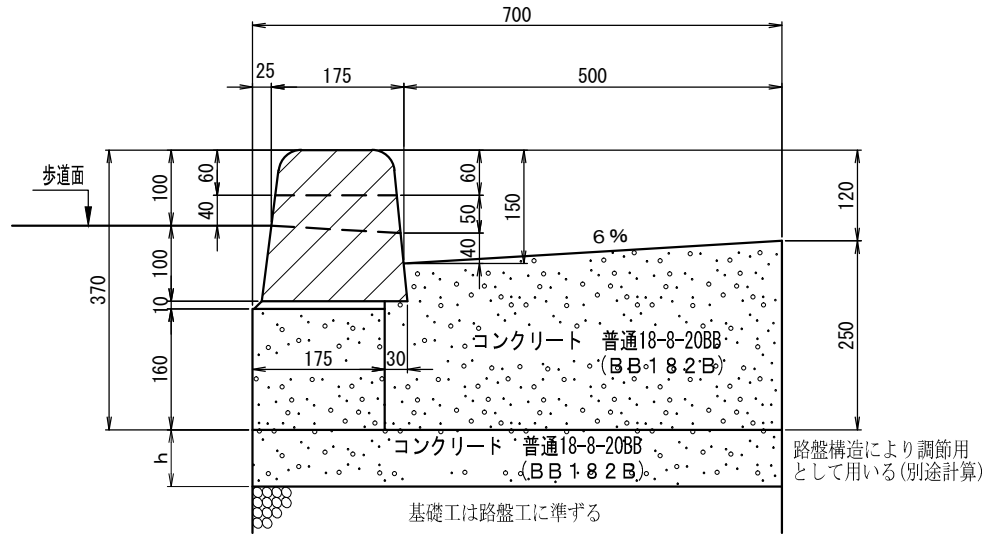
(100m当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	15.8	m ³	
歩車道境界ブロックB	$\frac{180}{205} \times 250 \times 600$	165.0	本	69 kg/個
モルタル	(1:3)	0.2	m ³	敷モルタル用
型 枠		57.0	m ²	

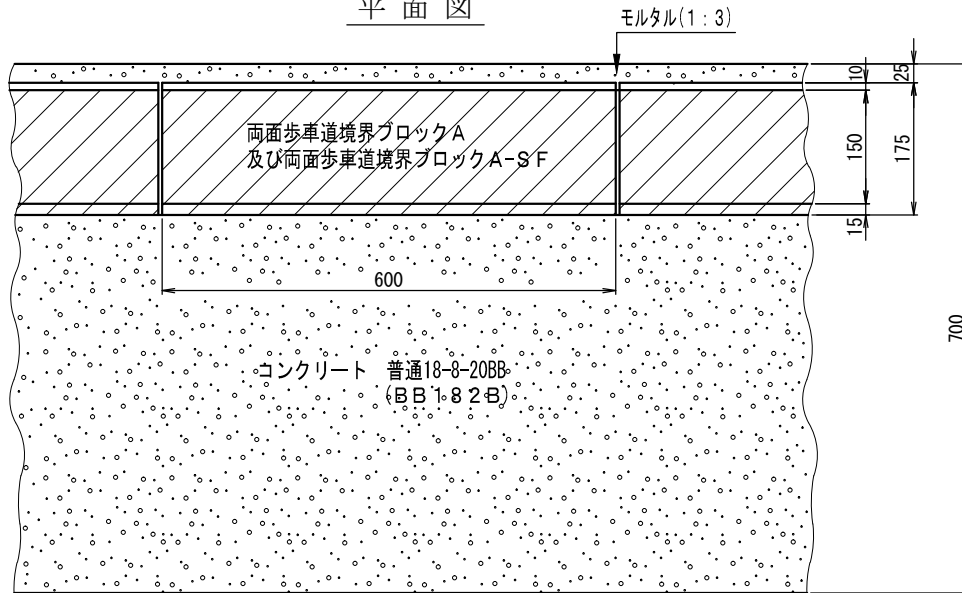
(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(155SF型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155SF型	h	2019

材料表

(100m当り)

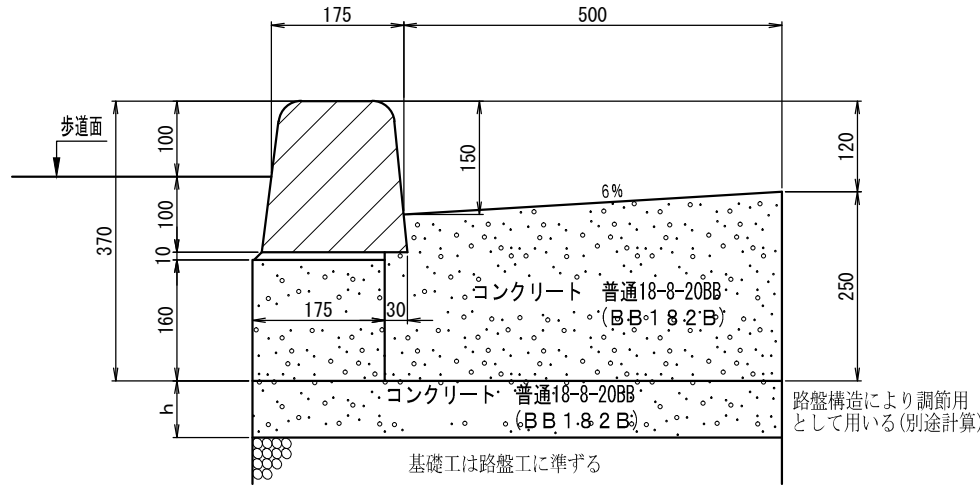
品名	形状寸法	単位	数量	備考
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	m ³	15.0	
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	本	83.0	49 kg/個
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	本	82.0	37 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.2	
型枠		m ²	57.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155SF型 端末	h	2019

街きよ工(155SF型)端末 S=1/10

横断面図



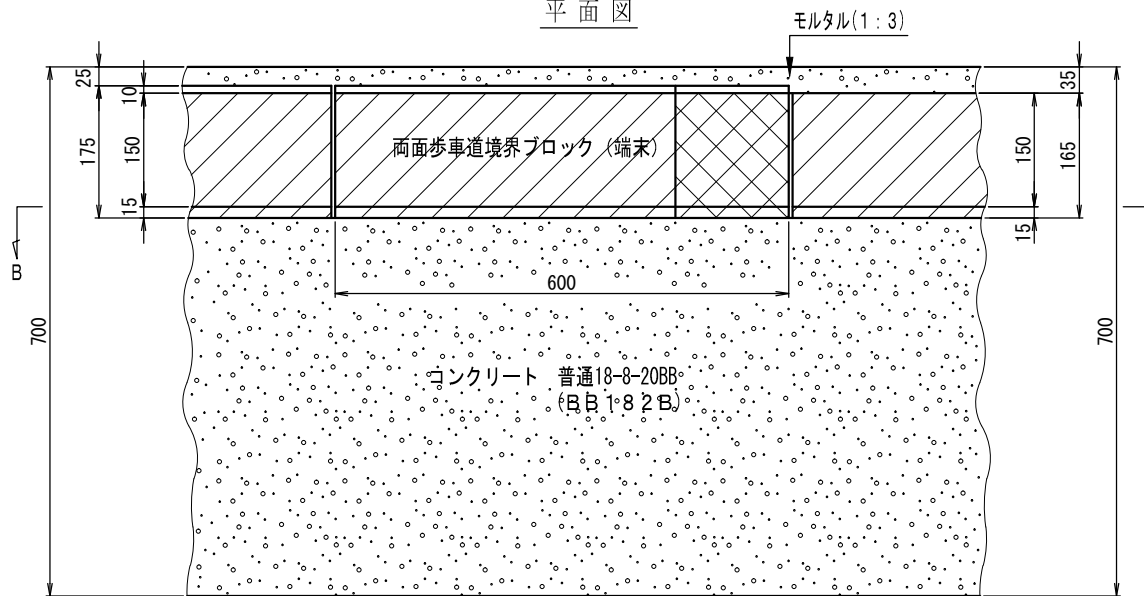
材料表

(100箇所当たり)

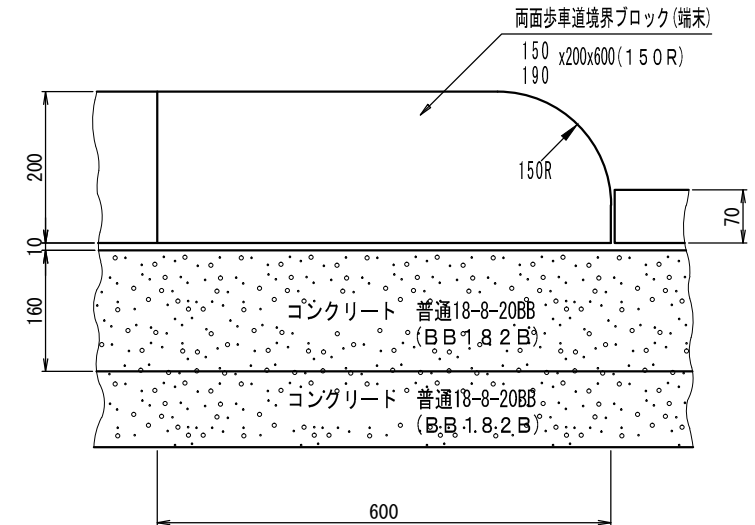
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	18.0	m ³	
両面歩車道境界ブロック(端末)	150 190×200×600(R150)	200.0	本	44 kg/個
モルタル	(1:3)	0.2	m ³	
型枠		68.4	m ²	

(注1) 本材料表は、すりつけ部両側の数量である。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

平面図



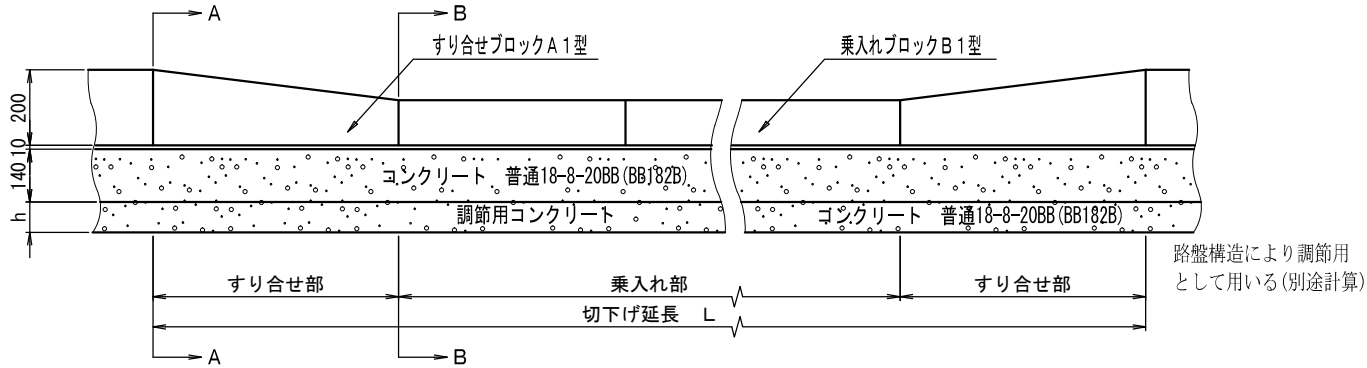
B-B断面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

街きよ工(155型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

正面図



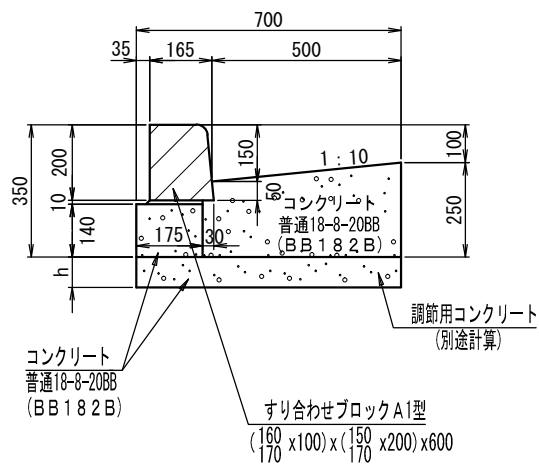
(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

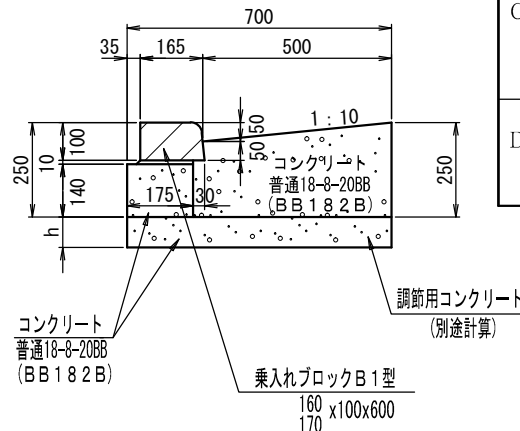
(100箇所当り)

型式	切り下延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A1型 (個)	乗入れ ブロック B1型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	42.6	0.4	160.6	200 (35kg/個)	300 (24kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	59.7	0.6	224.8	200 (35kg/個)	500 (24kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	76.7	0.8	289.1	200 (35kg/個)	700 (24kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	102.3	1.1	385.5	200 (35kg/個)	1,000 (24kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図



B-B 断面図



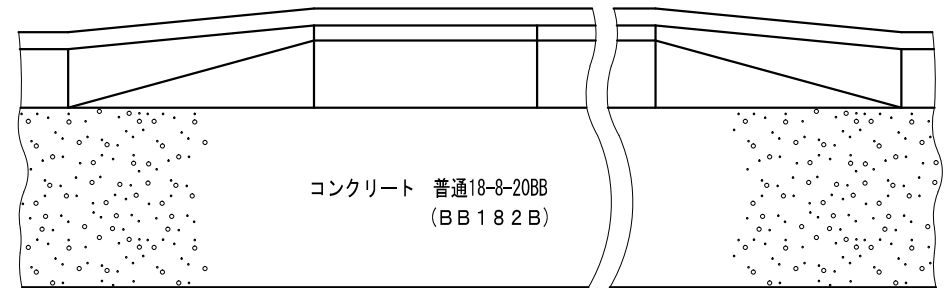
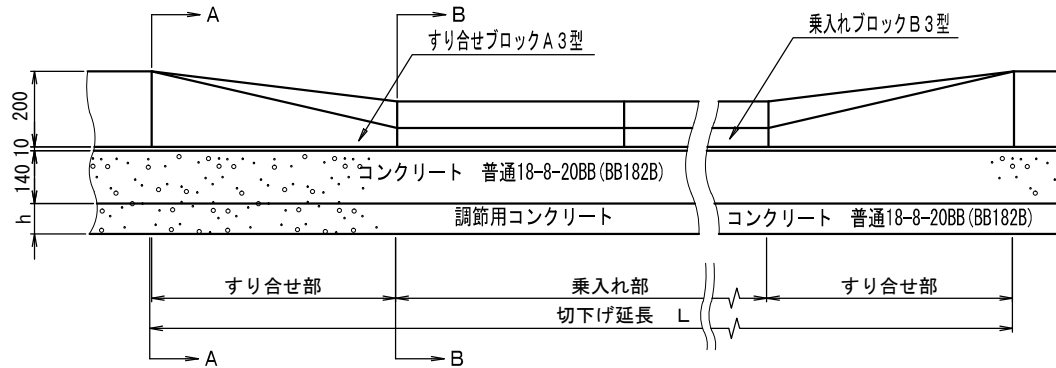
(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工 (155-1型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	155-1型	T h	2019

正面図

平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

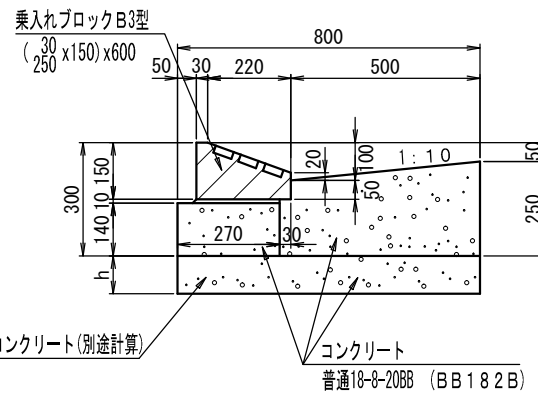
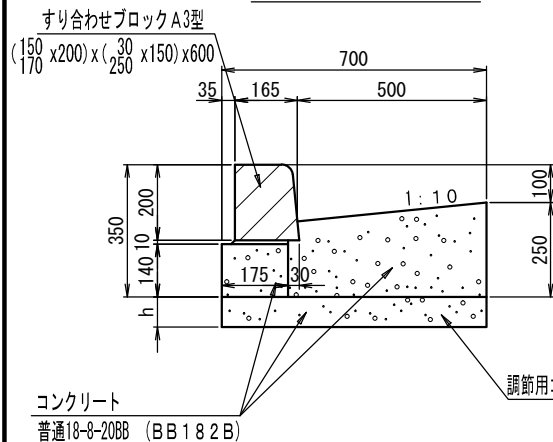
材料表

(100箇所当り)

型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A3型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	收容施設の種別 (参考)
T							
A型	303	46.1	0.6	160.6	200 (44kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を收容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	64.9	0.9	224.8	200 (44kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	83.7	1.2	289.1	200 (44kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	111.8	1.6	385.5	200 (44kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図

B-B 断面図



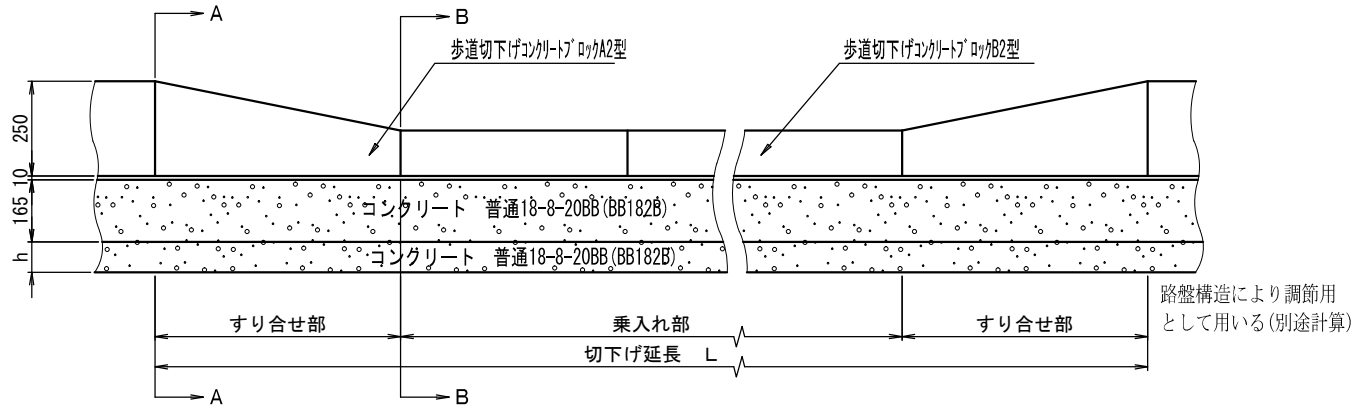
(注1) 收容施設の延長は、種別を参考に收容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(205型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	205型	T h	2019

正面図



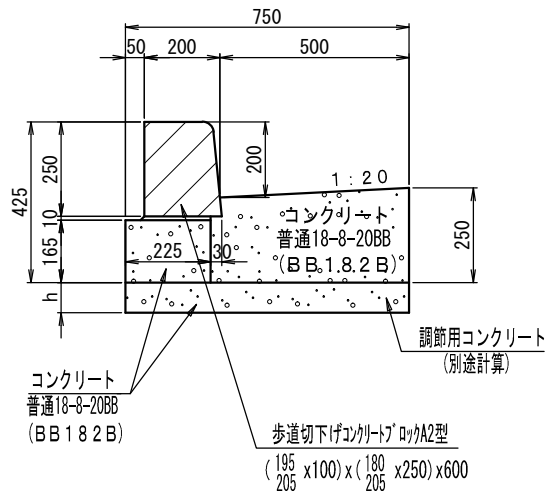
(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

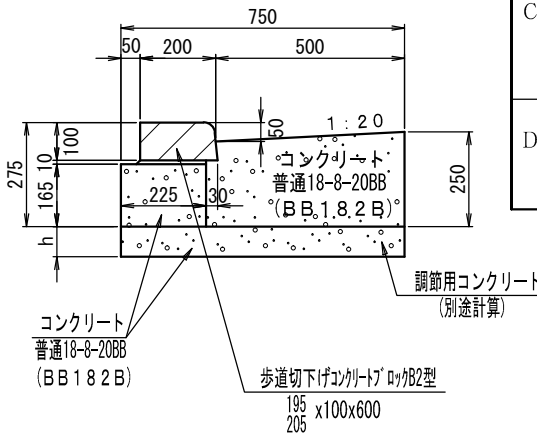
(100箇所当り)

型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A2型 (個)	乗入れ ブロック B2型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	48.5	0.5	175.7	200 (43kg/個)	300 (28kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	67.5	0.8	246.0	200 (43kg/個)	500 (28kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	87.4	1.0	316.4	200 (43kg/個)	700 (28kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	116.5	1.3	421.8	200 (43kg/個)	1,000 (28kg/個)	普通自動車(3,8の一部 及び1,2ナンバー)を収 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図



B-B 断面図



(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。